

# 品川区教育委員会会議記録

平成20年 第12回 定例会

場 所 教育委員室  
期 日 平成20年10月28日  
開 会 午後2時00分  
閉 会 午後4時50分

出席委員	委 員 長 徳岡 壽夫 委員長職務代理者 安尾 久子 委 員 細川 珠生 委 員 市川 信之助 教 育 長 若月 秀夫
欠席委員	

出席職員	庶務課長 田村 信二 学務課長 富田 祥子 指導課長 河野 美和 小中一貫教育担当課長 和氣 正典 生涯学習課長 堀越 明 品川図書館長 小川 陽子 品川区スポーツ協会事務局次長 安藤 正純
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

議事運営および 委員長、教育長報 告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・署名委員に細川委員、市川委員を指名</li> <li>・教育次長は議員視察同行のため、欠席である。</li> </ul>
-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

件名	<p>日程第1 第31号議案</p> <p>教育委員会事務事業の点検および評価について</p>
担当課説明等	<p>(庶務課長) 資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、審議の持ち方について事務局より提案したい。本件議案について事務局にて評価案を提示しているの、委員に評価結果をご審議いただき最終的な評価を決定していただきたい。各課より事業および評価の概要を説明し、質疑の後、ご指示・修正をいただきたい。</li> <li>・審議については事業数が多いので、本日審議が終わらなければ継続審議という扱いとしていただきたい。</li> <li>・今後、議会への報告書の提出や公表を行うが、これらの内容・方法については今後委員会で審議していただきたい。</li> </ul> <p>(品川図書館長) 資料に基づき説明  (学務課長) 資料に基づき説明  (指導課長) 資料に基づき説明  (小中一貫教育担当課長) 資料に基づき説明  (生涯学習課長) 資料に基づき説明</p>
委員質疑要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎のビジネス支援図書館は評判が良いと聞いている。事業としてはどの事業に含まれるのか。</li> </ul> <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の予算規模は他区と比較してどの程度になっているか。</li> <li>・事業19、20について、移動教室などの校外活動は子どもを遅くする。現状2泊3日だが、これを3泊4日に拡大するなど学校からの要望は出ているのか。</li> <li>・IT化事業について、地上デジタル放送への対応も必要と考えるが対応の予定はどうなっているか。</li> <li>・事業27のクラブ活動指導事業において、外部指導員は何名程度いるのか。</li> </ul> <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A～Dの評価と各要素別評価との関連についてはどうなっているか。</li> <li>・耐震補強などは緊急性・重要性が高い事業だと考えるが、なぜ「C」評価なのか。</li> <li>・事業番号19、20番の移動教室等について拡充を検討すべきではないか。</li> <li>・事業番号39について、必然性と資源が「1」と判定されている理由はなにか。「2」が適当と考える。</li> </ul> <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常備薬の配付について、これは保健室に常備するものか。</li> <li>・地上デジタル放送への対応などについて、学校のインフラ整備には学校間の差がでないようにするべきである。予算をかける必要があるならばやむを得ない部分もある。都や国の補助などはないのか。</li> </ul> <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業24番の学校選択制は拡充していくべきではないか。</li> <li>・本件評価の結果は予算措置に影響するのか。</li> </ul>

<p>事務局説明</p>	<p>(品川図書館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネス支援図書館は魅力ある図書館づくりの推進のための事業であることから事業番号 93 番「図書館運営」に含まれる。</li> <li>・ 予算規模について、品川区は 2 3 区の中では中上位に位置している。</li> </ul> <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各要素評価は必要性・緊急性、優先度など様々な要素から判断しており、A～E の評価は要素を総合的に勘案し、今後の事業の進め方を判断するもので、単純に点数で決定していない。提案は事務局の案であり、各要素も評価も最終的には委員会で判断いただく。</li> <li>・ 耐震補強工事は当然緊急性・重要性は高いが、既に予算化されており、計画的に進めていく方針となっているため、予算事業としての判断は現状維持で十分対応ができるという意味で「C」評価としている。委員会で「B」とご判断いただければそのように修正する。</li> <li>・ 常備薬について、庶務課所管の常備薬の配備事業は職員用のものであり、子供用の薬品等については学務課の予算で別途購入している。事業の実施方法については見直しを行っていききたい。</li> <li>・ 評価と予算の関係について、教育委員会の予算要望に勘案するとしても、予算編成は区長が行うものであり、予算措置がされるか否かは事務局が判断・回答すべきことではない。</li> </ul> <p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校選択制について、経費としては現状で十分であり、事業実施の内容については充実に努めていく。</li> <li>・ 校外学習は学校の体験活動を展開するものであり、学務課はサポートを行っている。体験活動内容の独自性や工夫は学校で検討していくものである。</li> <li>・ 移動教室について、日数増加の要望は受けていない。日数の変動は教育課程の編成にも関わる問題であり、校長会などから要望があれば検討していききたい。</li> <li>・ 地上デジタル放送への対応について、対応方法に地上デジタル放送対応テレビの購入の他、CATV チューナーを設置し今のテレビを利用することも可能であり、その他 TV チューナー付のパソコンとプロジェクターによる視聴方法など様々な対応方法がある、IT 全体との関わりの中で検討していく。</li> <li>・ 地上デジタル放送への対応の都や国の補助について、今後慎重に情報収集していく。また、TV を授業で活用することについて、学校により差があると思われるので、それらの状況も把握し、適切な対応をとりたい。</li> </ul> <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業 27 のクラブ活動指導事業について、外部指導員は 8 0 名前後である。</li> <li>・ 事業番号 39 の介助員の配置について、必然性の「1」は判断基準のうち「民間への代替性」が高いという理由であり、本件は民間へ委託の方向であるので、「1」とした。事業の実施方法を全面的に見直すということで資源も「1」とした。しかしながら事業そのもののニーズは今後も高まっていくので、総合評価は「B」と判断した。</li> </ul>
	<p>(委員 C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館は文化施策の重要な事業である。充実の方向で考えていくべきである。</li> <li>・ 評価の表現として B 評価は「現状を維持し、さらに向上を検討していくべきである。」と表現するべきである。</li> <li>・ 耐震補強工事についてはせめて「B」評価とするべきである。</li> <li>・ OA 機器などのリースについて、リース料は購入費用を全額支払う上に金利が高い。予算の関係で一括で購入することは難しいのかもしれないが、購入してしまうほうが安くあがると思う。</li> </ul> <p>(委員 B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リース契約など予算の編成・執行方針について、予算については企画部中心に区長が編成し、執行にあたっては区長からの依命通達によって行っているが、委員会で出た意見は区長部局に伝えていきたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 36 番の事務システムなどとの関係について、事務処理のシステム化などを行っていると思うが、実態上監査の指摘などを見る限り、学校の能力差の平準化が必要だ。平準化できない事業に予算をかけるのは矛盾していると思う。予算の投入に対し、事務の平準化などを達成させるべきである。</li> </ul> <p>(委員 A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校外体験活動については学校での工夫が重要であり、事業評価としては「C」でよいと思う。</li> </ul>
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件議案について審議結果を評価に反映させることとし、次回改めて審議の上、審議に回る。継続審議とする。</li> </ul>

件名	日程第2 報告事項1 平成20年度前期一般監査について
担当課	(庶務課長) 資料に基づき説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の監査ではすまいるスクールを含む学校は監査対象外となっている。</li> <li>・ 事務局で指摘を受けているものがあり、学校を指導・監督する事務局としては、今後適切な事務処理を徹底していく。</li> </ul>
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	(委員C) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年の監査に向け、一層の努力を期待する。</li> </ul>
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 了承</li> </ul>

件名	日程第2 報告事項2 区費教員の応募状況について
担当課説明等	(指導課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員E) ・ 募集教員の年齢制限を確認したい。
事務局説明	(指導課長) ・ 区費教員については44歳まで、年間任用教員については年齢制限はない。
委員意見要旨	(委員A) ・ 倍率が高い、すごいことだ。  (委員B) ・ 倍率が高くなるということは品川で働きたいと考える教員が沢山いるということだ。  (委員C) ・ 適正な選考を実施していただきたい。
議事結果	了承

件名	日程第4 その他 荏原東地区小中一貫校開設に向けてのお知らせについて
担当課説明等	(学務課長) ・ 本件荏原東地区小中一貫校の開設に向けて、開設準備連絡会を発足させ、お知らせを保護者、地元へ配布することとした。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承